

平成21年度

# 事業報告書



学校法人 高田学苑

Takada Gakuen

高田短期大学、高田高等学校、高田中学校

平成21年4月～平成22年3月31日まで

1. 法人の概要

建学の精神 .....2

教育方針

- (1)設置する学校、定員及び現員
- (2)役員氏名 .....3
- (3)教職員数及び組織構成図 .....3～4
- (4)校舎敷地及び建物等 .....5

2. 事業実績の概要

－法人－

- 1. 高田中・高等学校新グラウンド竣工式 .....6
- 2. 高田学苑表彰 .....7
- 3. 安全衛生の取組強化 .....8

3. 教育研究活動の実績

－高田短期大学－ .....9～18

〈短大全体〉

- (1)「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム採択
- (2)オープンキャンパス実施結果
- (3)進学相談会の実施結果
- (4)みえアカデミックセミナー2009
- (5)キャンパスキューブ
- (6)大学サロンみえ
- (7)「馬とふれあう親子ひろばin高田パーク2010」

〈子ども学科〉

- (1)「第6回高田短期大学保育セミナー」開催
- (2)あのかつアカデミー・家庭教育支援  
コーディネーター養成講座実施  
(津市教育委員会と高田短期大学子ども学科共催)

(3)子ども学科年報発行

〈人間介護福祉学科〉

- (1)進路選択学生等支援事業(厚労省)
- (2)人間介護福祉学科地域連携推進事業
- (3)潜在的有資格者等養成支援事業(厚労省)
- (4)第7回地域の知の拠点シンポジウム(三重県)の実施準備
- (5)介護技術講習会

〈オフィス情報学科〉

- (1)情報ボランティア学習会の実施
- (2)パソコン教室の開催

〈図書館・仏教文化研究センター〉

- (1)高田短期大学公開講座
- (2)仏教文化研究センター公開講座
- (3)仏教文化研究センター仏教入門講座
- (4)高田短期大学図書館事業

〈育児文化研究センター〉

- (1)子育て・子育てを応援する地域支援プロジェクト事業
- (2)センターだより「IKUBUN NEWS10号」発行
- (3)出前講座
- (4)子育て応援隊

－高田中学校・高田高等学校－ .....19～22

- (1)キャリア教育推進事業
- (2)環境教育推進事業
- (3)教職員の資質向上事業
- (4)プラネタリウム公開講座
- (5)命の大切さを考える教育の推進事業
- (6)危機管理活動推進事業
- (7)三重の魅力づくり推進事業
- (8)国際交流事業
- (9)自己点検・評価等推進事業
- (10)数理コースの新設
- (11)教職員海外研修事業

4. 施設設備整備事業の実績

.....23～25

5. 財務の概要

- (1)資金収支計算書の概要 .....26～28
- (2)消費収支計算書の概要 .....29
- (3)貸借対照表の概要 .....30. 31
- (4)財務比率推移表 .....32
- (5)財産目録 .....33

# 1 法人の概要

## 建学の精神

本学苑は仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成することを建学の精神としている。

## 教育方針

### <短期大学>

建学の精神をふまえ、単に専門知識・技能の教授のみならず、「自分の立場や他人の立場を理解し、人や自然と優しく交わることのできる、おおらかで柔軟な思いやりのある心」を培う教育をめざしている。

### <中・高等学校>

真宗高田派の宗門立学校として、言行忠信、表裏相応を校訓として、仏教教育による人間味の豊かさを深め、規律精神を基とした行動力の育成と基礎学力の充実錬磨につとめ、広い視野から社会に貢献できる人材の養成をめざした教育を行っている。また、中学校・高等学校一貫六年制コースを設置し、高い水準の学力と知的な生徒を育成している。

## (1)設置する学校、定員及び現員

- ◆ 高田短期大学 三重県津市一身田豊野195

子ども学科

人間介護福祉学科

オフィス情報学科

- ◆ 高田高等学校 三重県津市一身田町2843

- ◆ 高田中学校 三重県津市一身田町2843

### ○高田短期大学

(平成21年5月1日現在)

学科名	入学定員	収容定員	1年生	2年生	合計
子ども学科	150名	300名	159名	144名	303名
人間介護福祉学科	40名	80名	19名	14名	33名
オフィス情報学科	60名	120名	65名	46名	111名
合計	250名	500名	243名	204名	447名

### ○高田高等学校

入学定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	合計
730名	2190名	577名	569名	604名	1750名

(募集定員 560名) (3ヶ年の募集定員計 1680名)

### ○高田中学校

入学定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	合計
200名	600名	221名	195名	224名	640名

(2) 役員氏名

<理事 定数10名 実数9名>

(平成21年9月1日現在)

区分	氏名	現職
第1号 宗務総長	青木 眞暁	真宗高田派 宗務総長
第2号 学苑長 短大学長 中・高校長	田中 和麿 栗原 廣海 高臣 文祥	学校法人高田学苑 理事長(学苑長) 高田短期大学 学長 高田中・高等学校 校長
第3号 評議員	伊藤 友治 鷺尾 弘文 倉田 謙文 佐脇 功 望月 演	(有)平治煎餅 代表取締役、(株)津銘菓 代表取締役 (宗)真宗高田派 正因寺住職 (株)津ドライトングスクール 代表取締役 高田学苑樹心同窓会 会長 三重県私学協会 会長

<監事 定数2名 実数2名>

区分	氏名	現職
監事	下津 和文	(株)下津醤油 代表取締役
監事	中山 照夫	税理士

<評議員 定数21~25名 実数22名>

区分	氏名	現職
第1号 宗務総長	青木 眞暁	真宗高田派 宗務総長
第2号 学苑長 短大学長 中・高校長	田中 和麿 栗原 廣海 高臣 文祥	学校法人高田学苑 理事長(学苑長) 高田短期大学 学長 高田中・高等学校 校長
第3号 法人職員	三宅 啓子 千草 篤麿 井ノ口良雄 長谷川 博	高田短期大学 子ども学科長 高田短期大学 人間介護福祉学科長 高田中・高等学校 教頭 高田中・高等学校 教頭
第4号 功労者	小妻 道生 望月 演 倉田 謙文	高田短期大学 名誉教授 三重県私学協会 会長 (株)津ドライトングスクール 取締役会長
第5号 卒業者	鷺尾 弘文 佐脇 功 前畑みち代 落合 壽	(宗)真宗高田派 正因寺住職 高田学苑樹心同窓会 会長 津市立千里ヶ丘幼稚園 園長 津市議会議員
第6号 宗議会議長	花山 光瑞	(宗)真宗高田派宗議会 議長
第7号 本山総務	高倉 隆乗 藤森 邦夫	(宗)真宗高田派総務 (宗)真宗高田派総務
第8号 学識経験者	伊藤 友治 坪井 俊輔 日野 昭 永井 玲子	(有)平治煎餅 代表取締役、(株)津銘菓 代表取締役 弁護士 坪井法律事務所 (財)真宗高田派十萬人講財団 理事長 津家庭裁判所 調停委員

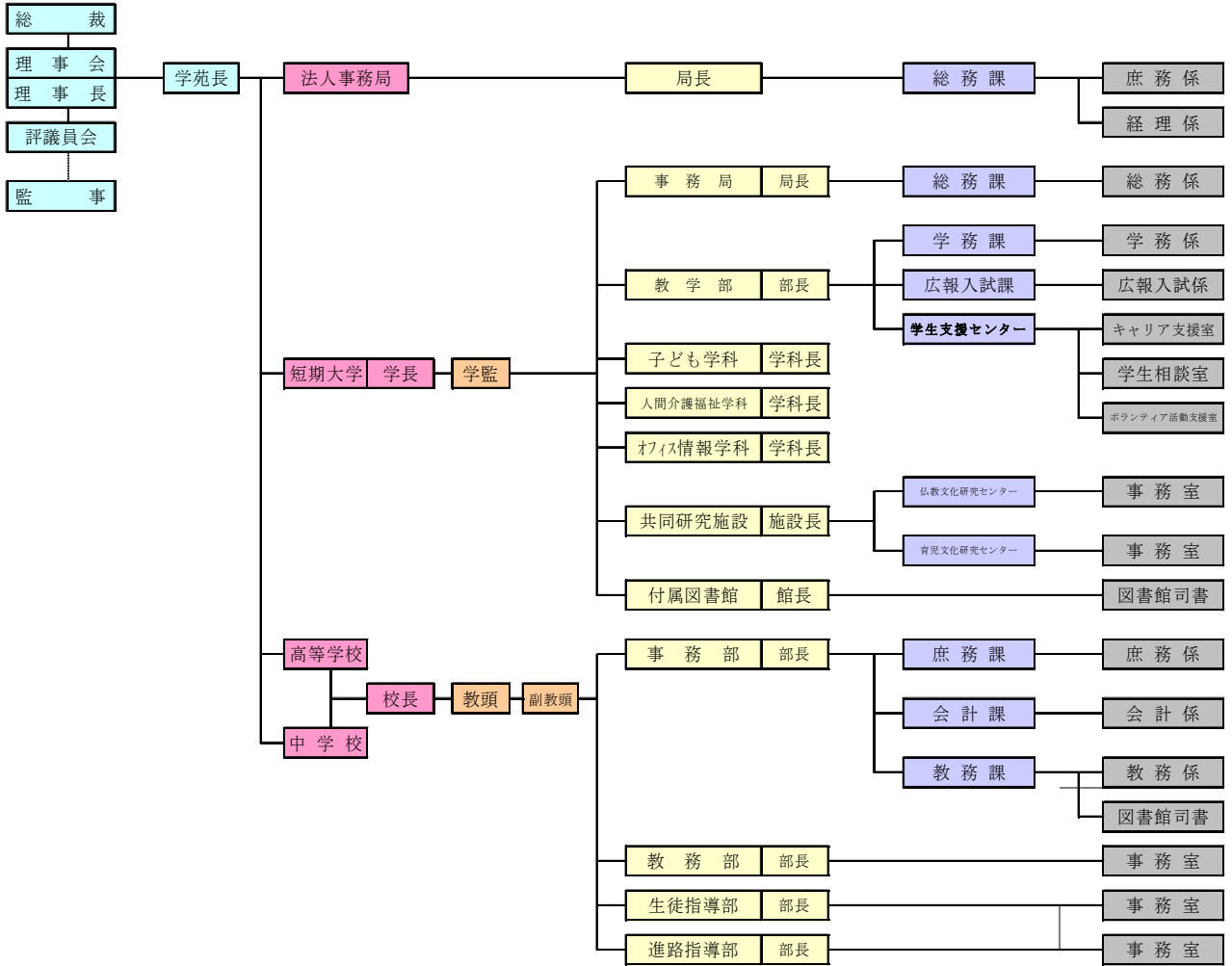
(3) 教職員数

(平成21年5月1日現在)

	教 員		職 員		合 計	
	本 務	兼 務 (嘱託・非常勤等)	本 務	兼 務 (嘱託・非常勤等)		
本 部	—	—	6名	2名	8名	
短期大学	子ども学科	15名	32名	9名	5名	61名
	人間介護福祉学科	8名	12名	2名	0名	22名
	オフィス情報学科	7名	22名	5名	1名	35名
高 等 学 校	97名	20名	10名	7名	134名	
中 学 校	29名	7名	3名	1名	40名	
合 計	156名	93名	35名	16名	300名	

(注) 学苑長は本部職員に、短期大学学長は子ども学科本務教員に、また中高校長は高等学校本務教員に含む。  
又短期大学の兼務教員数には後期採用者も含む。

# 高田学苑組織構成図



(4) 校舎敷地等の概要

区 分		専用面積(㎡)	共用面積(㎡)	計面積(㎡)	所在地	権利の所属	備考
短期大学用地	校舎敷地	7,106		7,106	津市一身田豊野	自己所有	
	運動場用地	5,921		5,921	〃	〃	実測面積20,071㎡
	学生用駐車場用地	2,392		2,392	〃	〃	実測面積3,287㎡
	その他	3,279		3,279	〃	〃	緑地等
計		18,698		18,698			
上記以外の学校用地	中学校校舎敷地	1,274		1,274	津市一身田	自己所有	内 借用588㎡
	高等学校校舎敷地	16,408		16,408	〃	〃	内 借用578㎡
	中学校運動場用地	13,490		13,490	〃	〃	
	高等学校運動場用地	41,215		41,215	〃	〃	内 借用3,275㎡
	その他	6,165		6,165	〃	〃	内 借用1,663㎡
計		78,552	0	78,552			
合 計		97,250	0	97,250			
校地以外の土地		61,913		61,913	津市芸濃町河内	自己所有	山 林

(5) 校舎等建物の概要<短期大学の部>

校舎等建物面積等				
区 分	面積(㎡)	室数	構 造	権利の所属
1号館	3155.60	33	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建	自己所有
2号館	4163.75	38	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	〃
3号館	1743.64	15	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
音楽棟	858.82	23	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
図書館	803.19	8	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
体育館	1983.96	15	鉄筋コンクリート造アルミニウム板葺3階建	〃
計	12708.96	132		

(6) 上記以外の学校法人の校舎等建物の概要 <法人本部、高等学校・中学校の部>

校舎等建物面積等				
区 分	面積(㎡)	室数	構 造	権利の所属
本 館	4,721.83	36	鉄筋コンクリート造陸屋根7階建	自己所有
1号館	2,722.10	25	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
2号館	2,155.05	21	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
3号館	2,609.31	13	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
4号館	3,125.59	16	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
5号館	4,113.15	29	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
東 館	468.12	5	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	〃
第1体育館	3,819.78	16	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
第2体育館	1,889.03	12	鉄筋鉄骨コンクリート造切妻屋根3階建	〃
クラブハウス	422.10	29	鉄筋コンクリート造2階建	〃
プール施設棟	337.58	2	鉄筋コンクリート造2階建	〃
その他	209.72			〃
計	26,593.36	204		
合 計	39,302.32	336		

備考(その他)／用務員棟76.56㎡ 機械室6.62㎡ 車庫、倉庫28.73㎡ 渡廊下67.50㎡ テニスコート部室30.31㎡)

## 2 事業実績の概要

### <法人>

#### (1) 高田中・高等学校新グラウンド竣工式挙行

平成20年4月に着工した、中・高新グラウンド整備事業が平成21年9月末で完了し、10月17日(土)に新グラウンド内の特設会場で竣工式が挙行されました。

本校にとって、グラウンドの拡張は長年の夢であったが、平成19年に約一万坪の土地を取得することができ、工事が進められてきました。

新グラウンドには、陸上競技場として400m(常時300m)トラックが配置されたほか、その北側に全天候型百mレーンが二本、さらに、周囲には800mのランニングコースが設けられた。フィールド内にはサッカー場が配置され、中央にはダッグアウトを有する両翼90mの本格的な硬式野球場、そして西側には馬術競技場が作られました。

馬術競技場は、これまで高田短期大学に隣接していたが、平地に移動したことによって、馬術部部員の活動がより見学しやすくなりました。それぞれの施設には管理棟を配し、また、周囲には樹木を植栽して、生徒たちがのびのびと活動できる空間を整えました。

竣工式には、真宗高田派本山専修寺常磐井鸞猷ご法主をはじめ、来賓の方々、そして高田学苑理事・監事・評議員、父母の会役員、樹心同窓会役員など関係者約80名が参列されました。

開式の辞、合掌礼拝、焼香、勤行と厳かに執り行われました。まず初めに、ご法主が「この広大な土地を取得され、立派に完成されたこと、おめでとう



法主殿

ございます。学苑長の土地購入の英断に敬意を表しますとともに、今後県内の有名学校として学業だけでなく、運動や文化面でも目覚ましい活動を念願してやみません。今後ますますのご発展を期待いたします。」と祝辞を述べられました。

続いて田中和磨理事長(学苑長)が、「生徒達はこの素晴らしい教育環境のもと、一層勉学、クラブ活動に精進してくれるものと期待します。県下で最も古く輝かしい伝統を誇る高田学苑は、文武両道の学苑として、人間性豊かな社会に貢献できる人材



田中学苑長

の育成を目指した教育を行っていきたいと思います。」と述べられました。

式典終了後オープニングセレモニーとして新グラウンド内の馬術競技場で、馬術部の演技が披露されました。騎手と馬との人馬一体の妙技は、参列者を魅了して、新グラウンド竣工式は終了いたしました。



オープニングセレモニー



父母の会井村会長

## (2) 高田学苑表彰

### 1) 役員表彰 平成21年12月14日

○理事長 田中 和麿

法主褒賞 受賞 平成21年1月15日

住職拝命後、寺院の護持発展と布教に当ると共に平成10年高田学苑長に就任し、校舎の改築拡充、新校舎完成及びグラウンドの整備に着手し、県内有数の進学校として揺るぎない偉容を打ち建て宗門内においても様々な役職を務める等多大な貢献をしたことにより法主褒賞を受賞されました。

○理事 倉田 謙文

警察庁長官・指定自動車教習所協会連合会連盟表彰受賞 平成21年11月6日

三重県指定自動車教習所協会長として12年間「地域の交通安全の役に立つような人材を育てたい」と地域とともに発展するよう、教習所同時の情報交換を活発化し、教習水準の向上に貢献したことにより警察庁長官・指定自動車教習所協会連合会（全指連）連盟表彰を受賞されました。

○監事 下津 和文

三重県産業功労者表彰受賞 平成21年11月6日

事業活動を通じ、市場の開拓や拡大、産業界の人材育成、雇用の拡大及び次代を担う産業者に対し志気の高揚を図り三重県産業振興に寄与した功績をたたえ、三重県より産業功労者表彰を受賞されました。

### 2) 特別表彰 平成21年11月 6日（金）

○中・高等学校教頭 井ノ口 良雄

高田高等学校・高田中学校の教諭就任以来、30年の永きにわたり本学苑の建学の精神にのっとり、学苑の発展のため献身的な努力を重ねられた功績により三重県総連合会名誉会長賞を受賞されました。その栄誉をたたえ高田学苑理事長より平成22年度特別表彰を受賞されました。

### 3) 永年勤続表彰

○短期大学 平成21年11月11日（水）

2名

30年勤続 学 長 栗原 廣海

15年勤続 事務局総務係長 藤善 真裕

○中・高等学校 平成21年11月 6日（金）

14名

35年勤続 校 長 高臣 文祥

生徒指導部長 安井 敏明

進路指導部長 家木 稔

教 諭 牛尾 雄一郎

30年勤続 教 諭 荒川 正信

教 諭 伊藤 哲哉

事務部会計課長補佐 宮崎 洋子

25年勤続 教 諭 上野 力

教 諭 鷺尾 尚史

教 諭 堅田 光英

	教諭	山口 慶子
10年勤続	養護教諭	小池 裕美
	学校司書	堀内 光

### (3) 安全衛生の取組強化

#### 1) 防災対策

設置校（高田短期大学、高田高等学校、高田中学校）で、毎年防災訓練を実施。また、非常災害用の備蓄品の管理にも努めています。

万一災害が発生した時には、直ちに学長・校長等を中心とする緊急対策本部を設置して、一元化した指揮管理体制のもとに、通報連絡、避難誘導、消火、救護、搬出、安全防护などの活動ができる体制を整えています。

#### 2) 安全管理

学内における各種実験用化学薬品や危険物の保管の管理運営について、適正な実施に努めています。

また、施設については建物の耐震補強、大規模空間の天井崩落防止等、さまざまな角度から安全確保に努めています。

#### 3) 健康管理

定期健康診断は、学校保健法により、年1回必ず受診するよう義務づけられています。高田短期大学及び高田中・高等学校でも毎年、全校生を対象に定期健康診断を実施しています。

保健室では、応急処置、健康相談などを実施している。また、カウンセリング室を設け生徒の心のケアを行っています。学内に非常災害用の緊急医療備蓄庫の設置を行っています。



#### 4) AED（自動体外式除細動器）設置（7台）

##### <短大>

1号館 1階正面玄関

##### <中高>

本館 1階 正面玄関（地域住民への対応）

4号館 1階 保健室

第1体育館 2階 体育教官室

西グラウンド管理棟1 2階 管理室

西グラウンド管理棟2 2階 管理室

西グラウンド厩舎棟 1階 管理室前(外部)

(地域住民への対応)



#### 5) 地域避難所（体育館）の指定・防災倉庫の設置

高田学苑は、平成21年10月より津地域避難所として指定された。これに伴い短期大学及び中・高等学校に防災倉庫を設置し、備蓄品の保管をしています。

生徒・教職員は勿論のこと地域住民の皆様方が災害時における危険回避のための避難が円滑に行われるように、避難場所の周知を行っています。



### 3 教育活動の実績

#### 高田短期大学

##### <短大全体>

##### (1) 平成21年度 「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラム採択

大学教育・学生支援推進事業は、各大学・短期大学・高等専門学校等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的とした事業です。

この事業の【テーマB】学生支援推進プログラムに申請した結果、本学の取組が採択されました。

取組名称 「キャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築」

取組期間 平成21年度～23年度

総事業費 25,000千円

補助金内定額 11,000千円

(平成21年度分)

##### 取組概要

学科の専門分野を修め、短期大学士にふさわしい学士力ある学生を育てるほか、学生のニーズにマッチした職場選びと就職を実現する就職支援システムの開発と運用体制を構築します。学生の学びに対する達成感と学習意欲を高め、学習の参加度を強化するために、学習ポートフォリオ、GPA制度を導入して学生の学習状況を把握します。また、本事業によりキャリア支援のログを学生一人ひとり一元管理ができる「キャリアカルテシステム」を開発します。キャリアカルテには、各学生の学習状況や資格取得、インターンシップ歴、希望業種や職種、進路指導歴などの記録をデータ管理することで、アドバイザー教員及び学生支援センターが一貫した就職支援を実現します。

また、就職活動で得られた企業情報や試験情報などのデータは、学生らが供覧できるシステムです。さらに、卒業時だけでなく卒業後も本システムを活用し、生涯を通じた満足度の高い就職支援ができるようにします。

##### (2) オープンキャンパス実施結果

両日とも、各会場が過去10年間で最高の参加者数となりました。今後は、参加者数によっては、会場及び実施スケジュールの見直しも行き、より充実したオープンキャンパスにしていきたいと思えます。

##### 1) 日時

①第1回 平成21年6月20日(土) 13:00～16:30

②第2回 平成21年8月1日(土) 13:00～16:30

##### 2) 参加者数

	第1回(6/20)	第2回(8/1)	合計
子ども学科	183名	147名	330名
人間介護福祉学科	21名	17名	38名
オフィス情報学科	48名	41名	89名
計	252名	205名	457名

##### 3) 実施スケジュール

- 13:00～13:20 全体説明会  
 13:25～16:30 各学科説明・体験・相談

### (3) 進学相談会の実施結果

オープンキャンパス同様、例年以上の参加者であった。また、同日に開催を予定していた長期履修学生制度の説明会は参加者がいなかったので行いませんでした。

#### 1) 日時

- ①第1回 平成21年7月11日(土) 13:00～15:00  
 ②第2回 平成21年10月4日(日) 13:00～15:00

#### 2) 参加者数

	第1回(7/11)	第2回(10/4)	合計
子ども学科	23名	15名	38名
人間介護福祉学科	0名	4名	4名
オフィス情報学科	8名	5名	13名
計	31名	24名	55名

#### 3) 実施スケジュール

- ①子ども学科(会場:7/11…122教室、10/4…育児文化室)  
 ・13:00～15:00 個別・グループ別相談会  
 ・随時 学内見学
- ②人間介護福祉学科(会場:介護実習施設)  
 ・13:00～15:00 個別相談会、学内見学
- ③オフィス情報学科(会場:第6演習室)  
 ・13:00～15:00 個別相談会、学内見学

### (4) みえアカデミックセミナー2009

#### ① ～心豊かな人生へのアクセス～

- 1) 日時 平成21年7月26日(日) 13:30～15:30  
 2) 会場 三重県生涯学習センター2F 視聴覚室  
 3) 担当 講演:子ども学科、挨拶:人間介護福祉学科、司会:オフィス情報学科  
 4) 大学テーマ 「生きる力を育む子育て -自然・環境・地域-」  
 5) 日程  
 13:00～ 受付開始  
 13:30～13:40 開会挨拶  
 13:40～14:25 講演①「あなたは、子どもからのメッセージが、聞こえますか」教授 山崎征子  
 14:25～14:35 休憩  
 14:35～15:20 講演②「幼児期における大切なこと」准教授 橋本景子  
 15:20～15:30 質疑応答  
 15:30 終了

#### 6) 参加者数等

当日は雷雨となり、当初の申し込みをやや下回る一般48名、本学教職員9名、計57名が参加、両講師の講演を熱心に聴講されました。質疑応答では、子育てに対する不安や悩みについて、両講師から具体的なアドバイスがあり聴衆の関心の高さを伺わせました。

## ②移動講座 【高田短期大学公開セミナー】

- 1) 開催日時 平成22年1月21日(木) 13:30~15:00
- 2) 開催場所 志摩文化会館 小ホール
- 3) 講師 学長 栗原 廣海
- 4) 演題 「いのちの真相」
- 5) 参加者数 79名
- 6) 参加費 無料
- 7) 共催 志摩市教育委員会

年間3万人を超える自殺問題の解決方法として、「やわらか心」を持つことの重要性を説かれました。

また、「自分の存在は縁ある無数の他者に生かされて生きている」という自己の縁起について、自分の意思を超えて自分を生かそうとしている無数の関係（ご縁）こそが、「いのちの真相」であると締めくくられました。

## (5) キャンパスキューブ

県内、大学相互の連携促進と、県民に対し各大学の存在及び活動を広くアピールするために、企業や団体に参画していただき、共同で番組の制作を行っています。

本学は昨年の後期から参加し、現在は三重大学、皇學館大学、高田短期大学の3校で番組が行われています。

番組の内容は各大学の学生パーソナリティと局のパーソナリティにより、学生の視点から各大学の取組や活動を広く県民の皆様に紹介をしています。

放送は、毎週金曜日の20時30分から20時55分の25分間放送され、学内の出来事、名物先生の紹介、大学祭など行事の案内、それと各大学の入試情報など、広報活動・学生募集の一役も担っています。

最近では三重大学の学長も番組出演をする企画も行われていました。

## (6) 大学サロンみえ

「大学サロンみえ」は、県（三重県政策部企画室）が開催し、県内の高等教育機関の発展をめざし、情報を共有し、意見交換の場として、また地域や大学等間の連携の取組や企画を検討する場を設定し、具体的な連携取組の推進提案の場を設けています。今年度は7月2日に第1回が行われ、平成21年度の県と高等教育機関の連携取組について説明されました。

また、例年行われている「地域の知の拠点シンポジウム」については、今年度本学で取り組む予定をしている人間介護福祉学科教員、客員研究員で「地域福祉と高齢者介護～福祉と文化の街づくり～」をテーマに、講演と家庭における簡単介護の体験などを紹介していただきました。

その他、新型インフルエンザの流行により、県がまとめた各大学の対応結果が報告されました。

次回11月12日に行われる「大学サロンみえ」では、内閣府から高橋一郎氏（大臣官房付）の講演があり、各省庁が連携して支援する「地域の知の拠点再生プログラム」の制度説明及び、事例紹介などが行われることになっています。

## (7) 「馬とふれあう親子ひろば in 高田パーク2010」

平成22年3月22日(祝)  
高田中高等学校馬場にて、「馬  
とふれあう親子ひろばIN  
高田パーク2010」が開催さ  
れました。親子・家族約270  
名の参加があり、明るく楽しい



1日を過ごして頂きました。オープニング、馬術部員による馬術演技、「馬車でお散歩」「ポニーに乗ろう」「ロディ君であそぼう」「バルーンで馬づくり」「蹄鉄の輪投げ」「写生大会」「紙芝居」「ふるまい豚汁」など多彩な催し物やコーナーでにぎわいました。高田中高等学校生、高田短期大学生がボランティアとして参加し、活躍しました。

## <子ども学科>

### (1) 「第6回高田短期大学保育セミナー」開催

- 1) 日 時 平成21年7月12日(日) 13:30~16:10
- 2) テーマ 「健やかな成長を支える保育—新幼稚園教育要領・改定保育所保育指針を受けて—」
- 3) 講師 ①「子どもの視点に立った幼・保・小連携—円滑な接続のためにできること—」  
内藤由佳子准教授  
②「食べる楽しさ、作る楽しさが育む食生活」 鷲見裕子准教授
- 4) 対象・参加者 保育士・幼稚園教諭・保育者を目指す学生・保育に関心のある人(31名参加)

### (2) あのとつアカデミー・家庭教育支援コーディネーター養成講座実施

(津市教育委員会と高田短期大学子ども学科共催)

「平成21年度あのとつアカデミー・家庭教育支援コーディネーター養成講座(基礎コース)」  
企画・実施中 (平成16年度からの継続事業)

- 1) 日 時 平成21年度は5回講座を企画実施予定
- 2) 講師 三宅 啓子教授 梶 美保教授 橋本 景子准教授 小田 義隆准教授  
池村 進講師

### (3) 子ども学科年報発行

(年1回発行)「第4号(幼児教育学科から—通刊14号)」作業中

- 1) 発行日 平成21年10月1日(木)
- 2) 部 数 1300部
- 3) 布 先 県内幼稚園・保育所(学生実習先)・各市教育委員会・各市役所等

## <人間介護福祉学科>

### (1) 進路選択学生等支援事業(厚労省)

定員割れの介護福祉士養成施設に対する学生確保のための補助金を得て、人間介護福祉学科PRのボールペン、クリアファイル等を作成し、オープンキャンパス等で配布しました。また、介護福祉士を目指す学生の為の本学の奨学金制度や厚労省の修学資金の宣伝ビラを作成し、県内高校に配布しました。

また、人間介護福祉学科の教員が独自に高校を訪問し、学科の教育内容の他、修学資金や本学の奨学金制度の説明をして回りました。

## (2) 人間介護福祉学科地域連携推進事業

十万人講財団の補助金を得て、地域の高齢者と学生との交流を実施することとなりました。前期は本学に地域で活躍する高齢者やグループホームで生活する認知症高齢者の方が本学を訪れ、計6回の交流会（課外授業）を実施しました。学生にとっては、貴重な体験を直接聞く機会になり、また、高齢者にとっては大学で若者に向かって話をするという楽しい機会となりました。

毎回最後に、高齢者、学生、教員など全参加者がお茶とその時々のお菓子を食べて交流を深めました。後期も同様に本事業を進めました。

## (3) 潜在的有資格者等養成支援事業（厚労省）

本支援事業の補助金申請を行い、9月に認可されました。したがって、実際の事業は後期に実施することになりました。一般市民向け講習会3回、施設職員向け研修会2回の計5回の事業を実施します。

## (4) 第7回地域の知の拠点シンポジウム（三重県）の実施

三重県が実施する「文化と知的探求の拠点」連携・推進プログラムの一環として、県の補助金を得て、「第7回地域の知の拠点シンポジウム」を本学の主催で12月19日（土）に実施されました。テーマは「地域福祉と高齢者介護」として、津市社会福祉協議会を共催とし、100名の参加をいただきました。

## (5) 介護技術講習会

介護福祉士国家試験において、介護福祉士養成施設等で専門的技術講習を修了した者については実技試験を免除する制度が導入されたことに伴い、本学でも介護技術講習会を開催しました。

受講対象者は介護福祉士国家試験の受験資格を有する者（福祉関係施設等において介護業務に3年以上従事した者及び介護等業務に3年以上従事した者と同等以上の能力を有すると認められる者）のうち、介護福祉士試験を受ける予定であり、実技試験の免除を申請しようとする者です。

なお、受講予定者数の見込から、今年度は1回のみで開催としました。

開 講 日 平成21年5月23日（土）・24日（日） 6月6日（土）・6月7日（日） 4日間

受 講 者 16名（定員：16名）

## <オフィス情報学科>

### (1) 情報ボランティア学習会の実施

生涯学習者としてのコンピュータ、ネットワークの学習と教室開催の準備学習を行いました。

- |            |          |             |     |    |
|------------|----------|-------------|-----|----|
| 1) 4月定例学習会 | 4月13日（月） | 16:30~21:00 | 参加者 | 8名 |
|            | 学内第4演習室  | PC1教室       |     |    |
| 2) 5月定例学習会 | 5月25日（月） | 16:30~21:00 | 参加者 | 8名 |
|            | 学内第4演習室  | PC1教室       |     |    |
| 3) 6月定例学習会 | 6月22日（月） | 16:30~21:00 | 参加者 | 6名 |
|            | 学内第4演習室  | PC1教室       |     |    |
| 4) 7月定例学習会 | 7月27日（月） | 16:30~21:00 | 参加者 | 7名 |
|            | 学内第4演習室  | PC1教室       |     |    |
| 5) 9月定例学習会 | 9月16日（水） | 16:30~21:00 | 参加者 | 6名 |
|            | 学内第4演習室  | PC1教室       |     |    |

### (2) パソコン教室の開催

1) 第1回シニアパソコン教室 平成21年6月7日(日)  
10:00~14:30  
本学 PC1教室  
(スタッフ反省会 14:50~15:30)



受講者 20名(申込者80名以上)  
スタッフ ボランティア 8名 学生 12名  
テーマ はじめてのパソコン  
内容 パソコンの基本操作・文字入力・インターネット閲覧など  
概要

津市中央公民館の課題講座として開催しました。講座を担当したのは、本学公開講座受講者OBが中心となって設立した「情報ボランティアみえ」ボランティアの方とオフィス情報学科の学生で60代から80代までの方の参加がありました。



津市中央公民館の担当の方が主催者として挨拶、続いて情報ボランティアのメンバーでもあるオフィス情報学科長が短大を代表して挨拶、情報ボランティアみえ会長がスタッフ代表として挨拶、そして、学生も挨拶。その後、スタッフ全員が自己紹介をして講座が始まりました。

講座は、ほぼ受講者一人に一人のスタッフがつく態勢で進めた。学生、ボランティアともに、シニアに教えるのは初めての体験であるが、シニアの方々の積極的な受講態度にひっぱられるように、知っていることを一生懸命受講者に伝えていました。講座中、お昼の食事中、互いのコミュニケーションを欠かすことなく、受講者の方々、ボランティアの皆さん、そして学生のみみんなにとって大変充実した楽しいひと時となったようです。受講者の感謝の言葉を受けて、無事講座も終了し、スタッフ全員で反省会を実施しました。

※平成21年6月8日付の伊勢新聞、平成21年6月18日付 三重ふるさと新聞に掲載されました。

※学生の感想記事(ブログ)

[http://blog.livedoor.jp/washioa-zemi2009/archives/cat\\_50040988.html](http://blog.livedoor.jp/washioa-zemi2009/archives/cat_50040988.html)

※シニアパソコン教室のページ

<http://www.takada-jc.ac.jp/jvmie/sinia/index.htm>

2) 第2回シニアパソコン教室 平成21年7月5日(日) 10:00~14:30  
本学 PC1教室  
(スタッフ反省会 14:50~15:30)

受講者 20名(申込者約80名)  
スタッフ ボランティア 8名 学生 12名  
テーマ 生活に役立つネット利用  
内容 ・ブラウザ基本操作・ネット知識・情報検索・メールの利用・ネットショッピング  
・ネット事例紹介・ブログ活用  
概要

午前、ブラウザの使い方、ヤフーを使ったネットサービスの利用、そしてGメールの利用をボランティアスタッフとボランティアの一人でもある本学教員が担当しました。Gメールの登録では、一度に登録できるアカウント数に制限があり、登録できないトラブルが発生し、スタッフ一同あわてましたが、「私のネット利用」で対応しました。今回は学生代表として3名の学生が楽天、アマゾン、

YouTube を紹介しました。

午後は、午前中に登録したGメールアカウントを使ってメールの送受信をした。次に、ボランティアが自前のサーバーで構築した仮想のネットショッピングサイトを使って、ネットショッピングの体験をした。注文した内容の確認メールが登録したGメールに送られ、メールの活用を体験した。次にGメール宛てにシニアパソコン教室のブログに受講者を招待しました。メールに回答し、ブログに加入



し、今日の感想をブロガーになった気分で書いてもらい、大変うれしい感想を受講者には書き込んでいただきました。

アンケートでは、全員から良い評価をしていただき、どの方も満足して帰っていかれたようであります。反省会では意見が飛び交って盛り上がり、今日の教室の充実度が見えるようでした。

3) 子どもパソコン教室 平成21年8月2日(日)・3日(月) 10:00~14:30  
本学 PC1教室  
(スタッフ反省会 14:50~15:30)

受講者 20名(申込者約80名)

スタッフ 2日 ボランティア 6名 学生 12名

3日 ボランティア 5名 学生 11名

テーマ スクイークでゲームをつくろう

内容 ・スクイークの基本・車を作る・ハンドルで動く車

・自由制作・作品発表

・自動で動く車・課題発表・車のチューニング

・レース大会・表彰式

・ネット事例紹介・ブログ活用



## 概要

初日は、学生講師によるスクイークの基本とハンドルで車を操作するプログラミングの基本を学んだあと、その方法を使って、「何かで何かをコントロールする作品」を作りました。講師の学生も驚く大変おもしろい作品ができました。

二日目は、道路を自動で動く車づくりで、学生が子どもたちに指導を行いました。子ども達は、レース場にあわせて、センサーの位置をかえたり、プログラムのパラメータを工夫するなどして車のチューニングをしました。

レースは、トーナメントで行い、優勝、二位、三位が決まりました。そして車のデザイン賞などを学生とボランティアで決め、学生の司会進行のもと表彰式が行われた。最後は、子どもたちの記念撮影、スタッフも反省会のあと記念撮影をしました。

この様子と作品は、次のページを参照して下さい。

<http://www.takada-jc.ac.jp/jvmie/kodomo/>

## <図書館・仏教文化研究センター>

### (1) 高田短期大学公開講座

#### ①「コンピュータハードウェア、ソフトウェア最新事情」

日程 平成21年7月13日(月)~7月17日(金) 参加者10名

講師 畠山義啓教授

②「脳の老化防止のためのいきいき脳レシピ・クッキング」

日 程 平成21年7月18日(土) 参加者20名

講 師 鷺見裕子准教授

(2) 仏教文化研究センター公開講座

①「仏教歩いて再発見!! Part5 四季の花—高田の御影堂に描かれている花鳥風月 その美と心—」

日 程 平成21年6月27日(土) 参加者51名

講 師 梅林久高氏(高田中・高等学校教諭)

②「伊勢の真宗」

日 程 平成21年7月26日(日) 参加者39名

講 師 北島恒陽 研究員

(3) 仏教文化研究センター仏教入門講座

①「仏典童話を楽しむ(前期)」 参加者31名

日 程 第一回 平成21年4月21日(火) 新光晴 研究員

及 び 第二回 平成21年5月24日(月) 金信昌樹 研究員

講 師 第三回 平成21年6月25日(木) 藤田正知 研究員

第四回 平成21年7月17日(金) 清水谷正尊 研究員

第五回 平成21年8月21日(金) 栗原廣海 センター長

第六回 平成21年9月24日(木) 松山智道 主任研究員

②「仏典童話を楽しむ(後期)」

日 程 第一回 平成21年10月21日(水) 新光晴 研究員

及 び 第二回 平成21年11月17日(火) 金信昌樹 研究員

講 師 第三回 平成21年12月22日(火) 藤田正知 研究員

第四回 平成22年 1月21日(木) 清水谷正尊 研究員

第五回 平成22年 2月25日(木) 栗原廣海 センター長

第六回 平成23年 3月17日(水) 松山智道 主任研究員

(4) 高田短期大学図書館事業

「増田ひげのおっさんの『絵本って楽しい!』講演会—子どもが本を開くとき—」

日 程 平成21年10月17日(土)

講 師 増田喜昭氏(子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主)

参 加 者 52名

<育児文化研究センター>

(1) 子育て・子育てを応援する地域支援プロジェクト事業

4回事業実施(学内2回、学外2回) 197名の参加。

1)「子育てママのホットひろば」

平成21年6月27日(土) 10:00~12:00 於)高田短期大学育児文化室

講 師 橋本 景子研究員

担 当 池村 進講師

補 助 川村 みや子センター職員

参 加 者 8組の親子19名の参加(母親8名、子ども11名)

子育て応援隊学生15名、 高校生体験ボランティア4名

2)「次世代の心を育てる手作り絵本 保育教材をつくろう!手作り絵本に挑戦!」

平成21年7月11日(土) 9:30~12:30  
 講師 わけびき 真澄研究員 保育士スタッフ2名、  
 担当 梶 美保センター長  
 参加者 17名 子育て応援隊学生5名

3) 「親と子のための音楽あそびひろば」

平成21年8月29日(土) 10:00~12:00  
 於) 三重県総合文化センター三重県文化会館第1リハーサル室  
 講師 福西 朋子研究員、木下和美氏、浦中こういち氏  
 担当 山本 敦子講師・川村 みや子センター職員  
 参加者 66名 子育て応援隊学生9名

4) 「子どもの心をわくわくさせる絵本」

平成21年9月27日(日) 14:00~16:00  
 於) 四日市市立博物館 1階講義室  
 講師 中井客員研究員、生川晴美氏、野呂昌子氏  
 担当 橋本 景子准教授・梶 美保教授・川村 みや子センター職員  
 参加者 95名 子育て応援隊学生5名

(2) センターだより「IKUBUN NEWS10号」 6月下旬700部発行

(3) 出前講座の実施

No.	日時	場所	対象	人数	講演タイトル	講師名	主催
1	6月6日	桔梗南幼稚園	保護者	70	親子でコミュニケーションのとり方、適切な子どもへの関わりの仕方について	平田裕子	名張市立桔梗南幼稚園
2	6月17日	四日市市勤労者・市民交流センター	四日市市乳児保育担当者	70	0.1.2歳児の発達と保育 保育所保育指針の中で今、乳幼児に求められているもの	梶 美保	四日市市社会福祉事務所
3	6月24日	サンワーク津	津市2歳児担当保育士	50	2歳児の発達をふまえた楽しい遊びと健康	梶 美保	津保育所施設連絡協議会
4	6月25日	玉垣保育所	保育士	40	「子どもの心とひびきあう保育」あそびを通じた仲間づくりの保育実践について	岩附啓子	鈴鹿市立玉垣保育所
5	6月25日	御園第一保育園	保護者	100	家庭の食卓が子どもの心を育てる	駒田聡子	御園第一保育園
6	6月26日	阿児アリーナ	保育・子育て支援関係者	170	集団生活としての幼児教育・その具体的実践	池上綾子	志摩市保育所連絡協議会
7	7月11日	川越町役場大会議室	保育士	35	保育実践研究「指導計画、保育内容、保育指針(援助)のあり方検討」	田口鉄久	川越町立中部保育所
8	7月18日	山室山保育園	保育園職員・保護者子育て支援センター利用者等	45	保育士に求められるビジネスマナー	平田裕子	社会福祉法人山室山福祉会
9	7月23日	サンヒルズ安濃	5歳児担当保育士	55	津市内保育所職員研修	榎原耐津子	津保育所施設連絡協議会
10	8月19日	名張市総合福祉センターふれあい	子育て支援者	30	楽しいバルーン講座①	梶 美保	名張市社会福祉協議会
11	9月4日	青少年研修センター	就学前の子どもを持つ親	49	遊びの力って何ですか？	山崎征子	亀山市中央公民館
12	9月15日	多気町 吉田福祉基金会館	一般	30	心の発達とその問題	千草篤麿	多気町
13	9月17日	くす保育園	保護者	30	食育について	駒田聡子	四日市市社会福祉事務所
14	9月26日	松阪市飯南子育て支援センター かんがる	保護者	30	「家庭の日常生活に於ける子育て」日常で求められているパパの子育て	池上綾子	松阪市福祉事務所

合計 804名

#### (4) 子育て応援隊

平成21年度子育て応援隊(学外)								
No	月日	日	時間	行事名	依頼内容	人数	場所	主催団体
1	4月5日	日	13:00～15:00	花まつり	幼児～小学生低学年の子どもの託児とバルーン体験	3	浄土真宗高田派 善性寺	浄土真宗高田派 善性寺
2	4月11日	土	13:30～15:00	お楽しみ会	バルーンレクリエーション	2	輝 ホール	回生病院介護老人保健施設 輝
3	4月25日	土	10:00～15:00	わいわい広場2009inサンアリーナ	バルーンアートを制作・配布	8	三重県サンアリーナ	株式会社 スコルチャ三重
4	5月21日	木	8:00～14:00	降誕会に行こう!	バルーンリリースの準備・園児もちつきリリースの援助・受付等運営補助	10	高田本山境内	一身田商工振興会
5	6月7日	日	10:00～15:00	歯の健康展	バルーンの制作・配布	10	津リージョンプラザ3階	歯の衛生週間事業実行委員会
6	6月21日	日	9:00～16:00	第54回三重県 第39回鈴鹿市母親大会	乳幼児・学童の保育	6	鈴鹿市文化会館	第54回三重県 第39回鈴鹿市母親大会実行委員会
7	6月27日	土	13:30～15:30	Mai mai「Bigコンサート2009」	舞台上で15分～20分程、バルーンアートやパネルシアターなどを披露、運営補助	4	美里文化センター ホール	美里さつき保育園子育て支援センター Maimaiくらぶ
8	6月28日	日	9:00～16:00	第8回ぐみの木まつり	まつりの保育及び模擬店の応援	6	ぐみの木ほいくえん	社会福祉法人鈴生会 ぐみの木ほいくえん
9	7月5日	日	9:00～17:00	一身田七夕祭り	バルーンの製作・配布	5	一身田寺内町	一身田青年団
10	7月7日	火	11:00～16:00	七夕笹流しのオープニングイベントバルーンリリース	三重病院・三重大学病院小児科用バルーンリリース製作	3	津市東丸の内(観音橋) 三重病院 三重大学病院	社団法人 津青年会議所
11	7月10日	金	16:00～19:00	宿泊保育	保育士補助(食事・更衣・シャワーなど)	3	ゆたか保育園	ゆたか保育園
12	7月11日	土	15:00～20:00	平成21年度高田保育園夏まつり	ゲームコーナー・屋台コーナー・アートバルーンコーナー等、各コーナーの準備とお手伝い	25	高田保育園2Fホール	高田保育園
13	7月18日	土	18:00～19:30	納涼大会	フランクフルトの設置・販売手伝い ゲームコーナーの設置運営手伝い	6	まつさか幼稚園 園庭	まつさか幼稚園
14	7月21日	火	16:30～20:00	夏まつり	模擬店の手伝い・園児の手助け	13	高田幼稚園園庭	高田幼稚園
15	7月24日	金	16:00～19:00	おとまり保育	子どもたちと一緒に遊んだり、子どもたちの活動準備等をしていただきます。	3	みらいの森ゆたか園	みらいの森ゆたか園
16	7月25日	土	8:30～12:00	パパとふれあうベビーマッサージ	ふれあい遊びおよび全体運営補助	3	津市美杉総合開発センター	お産・子育て環境を考える会みえ
17	7月25日	土	12:00～16:00	パパと楽しいバルーン	バルーン作成補助および全体運営補助	3	津市美杉総合開発センター	お産・子育て環境を考える会みえ
18	7月30日	木	8:30～12:00	子育て支援者のためのベビーマッサージ講座	全体運営補助	2	玉城町保健福祉会館	お産・子育て環境を考える会みえ
19	7月30日	木	12:00～17:00	子育て支援者のためのバルーン講座	全体運営補助	2	玉城町保健福祉会館	お産・子育て環境を考える会みえ
20	8月8日	土	14:00～19:30	夏まつり	出店の準備手伝い	6	みらいの森ゆたか園	みらいの森ゆたか園
21	8月8日	土	8:30～12:00	パパとふれあうベビーマッサージ	ふれあい遊びおよび全体運営補助	2	熊野市保健福祉センター	お産・子育て環境を考える会みえ
22	8月8日	土	12:00～16:00	パパと楽しいバルーン	バルーン作成補助および全体運営補助	2	熊野市保健福祉センター	お産・子育て環境を考える会みえ
23	8月14日	金	18:00～21:00	一身田盆踊り大会	バルーンアート・バルーン配布	5	高田本山専修寺境内	一身田盆踊り大会実行委員会
24	8月15日	土	18:00～21:00	一身田盆踊り大会	バルーンアート・バルーン配布	5	高田本山専修寺境内	一身田盆踊り大会実行委員会
25	8月22日	土	8:30～12:00	パパとふれあうベビーマッサージ	ふれあい遊びおよび全体運営補助	4	玉城町保健福祉会館	お産・子育て環境を考える会みえ
26	8月22日	土	12:00～16:00	パパと楽しいバルーン	バルーン作成補助および全体運営補助	5	玉城町保健福祉会館	お産・子育て環境を考える会みえ
27	8月22日	土	9:30～15:30	ファミリーキャンプ	イベント手伝い(ます掴み、クッキング、遊びなど)	5	朝明茶屋キャンプ場	子育て広場ドロッブ
28	8月24日	月	8:30～14:00	買って・作って・味わおう!～旬の食材を使って料理を楽しもう～	イベント手伝い(買い物、子どもの料理の補助および全体運営手伝い)	5	富州原の市、富州原地区市民センター	子育て広場ドロッブ
29	9月18日	金	8:30～13:30	高田本山合同参拝	バルーンリリース製作(1100個)	3	高田本山	三重県仏教保育協会

合計 159 名

## 高田中学校・高田高等学校＜教育研究活動の実績＞

### （１）キャリア教育推進事業

本校は普通科校であり就職希望者は少なくキャリア教育そのものへの取り組みは希薄であったが、今後は生徒が進学後の進路選択の際に有益な情報を予備知識としてもてるような出前授業を計画していきたいと思えます。

なお、本年は高校１年生を対象とし、日本を代表する企業の取組や、技術などを解説してもらいました。（平成２１年１２月２２日実施）

### （２）環境教育推進事業

一身田駅周辺の清掃と年間を通じて、四季折々の花を仏青部中心にプランターに植え、地域環境整備に努めています。

### （３）教職員の資質向上事業（初任者研修、学内研修、中部私学研修、就任１０年研修など）

新採教職員に対してベテラン教職員が教材研究や、生徒指導等について指導をおこなっています。さらに年間を通じて、事務的内容や指導教員からの長年培われたノウハウを習得することにより、教員としてあるべき姿を確立するための研修を行っています。また、夏休み期間中には全教職員が人権に関する研修を受講し、さらには外部団体の主催する人権、各教科の研修会にも積極的に参加するようにして資質向上に努めています。

ベテラン教員については、全国規模の研修会に参加することにより他校の優れた教育方法等を習得し本校への有効的に取り入れられる方法を研究しています。

### （４）プラネタリウム公開講座

新校舎完成に伴い地域住民の方への学校開放を目的として、また、日常と違った環境の中での講座という新たな刺激を得ることで、より教職員の資質向上につながると考え公開講座を実施しました。

実施時期	5/2(土)	7/4(土)	10/17(土)	2/20(土)
参加対象	地区住民	公開講座	公開講座	公開講座
参加数	80名	47名 (123名応募)	43名 (91名応募)	39名 (64名応募)



### （５）命の大切さを考える教育の推進事業

本校の建学精神である「仏教に基づく宗教的情操教育」によって、生徒一人ひとりが命の大切さを学習することを目的とし、全学年に年間３回の作文により「命及び人間観や人生観」に対する各自の考え方、思いを確認しました。

### （６）危機管理活動の推進事業

積極的に防災訓練に参加することにより防災意識を常に持ち、発生時には冷静な判断力と速やかな行動力が発揮できるよう、自らの災害に対する実践、準備を充実させることを目的としています。

なお、本年より防災倉庫設置により一時避難場所に指定され生徒の防災意識の一助になっています。また、災害以外に於いても校内不審者等への対応をまとめた学校危機管理マニュアルに基づき行動します。

情報源として、「安心ネット」「きずなネット」を利用し最新の情報に対応しています。

＜避難訓練＞

（目的）地震発生時における生徒の安全確保。地震発生時の対策に関する検証確認

（要領）想定状況 震度6強

教室での図上訓練（地震・防災マニュアル）参照

避難の実働訓練 生徒全員が運動場への避難（平成21年9月4日実施）

（7）三重の魅力づくり推進事業

クラブ活動は学校教育の一環としてより高い技能に挑戦し、体力の向上、健康の増進を図り優れた人間形成を目標に取り組む活動であります。活動は、主に放課後を利用し顧問の指導の下生徒の自主的な取り組みにより、東海大会、全国大会を目指し三重県の高田高校、高田中学として三重県の名を広めています。

（活動実績） 高校

◇運動部全国大会・東海大会出場クラブ（個人出場含む） 新体操、卓球、なぎなた、水泳、陸上、馬術

◇文化部全国大会出場クラブ（個人出場含む） 俳句同好会

（活動実績） 中学

◇運動部東海大会出場（個人出場含む） 陸上、水泳

（8）国際交流事業

（目的）

- ① 国際感覚豊かな人間育成のため、授業や諸行事に参加しながら学生生活を体験し友好を深めること。
- ② お互いの生活習慣や文化を学び、今後の交流振興に貢献すること。
- ③ 受け入れ家庭が、生徒と共に学び、生活することにより異文化理解を深めていくこと。

＜シンガポール交換留学訪問＞ 訪問期間 平成21年8月3日～8月10日

＜シンガポール交換留学受入＞ 受入期間 平成21年11月8日～11月14日

＜オーストラリア交換留学受入＞ 受入期間 平成21年9月12日～9月24日

上記3事業は、新型インフルエンザにより中止。

＜オーストラリア姉妹提携校訪問＞ 訪問期間 平成22年3月12日～26日

事業実施内容。

参加者 高校生 33名 引率教員 6名

（9）自己点検・評価等推進事業

（趣旨）

「学校の教育目標や教育活動の内容・方法、教育成果、学校の管理運営などについて、よりいっそうの教育活動の充実を図る」趣旨で教育活動全般にわたる自己点検・評価を行い、継続的な改善更新、改革を図っています。

（平成21年度の目標）

・目指す学校像（教育理念）

生徒・保護者・社会の期待に応え、伝統を重んじ信頼される私学を目指す。

◇校訓「言行忠信 表裏相応」の精神のもと、人間性豊かな人材を育成する。

◇高邁な志と社会に貢献できる人材を育成する。

◇自分の夢の実現に向けて、自ら学び、自己を律し、行動できる人材を育成する。

#### 努力目標

人間的豊かさを深め、個性の伸長をはかる。基本的な生活習慣を確立させ、規律ある行動力を育成する。学力の向上と充実錬磨に努める。環境を大切に、世界に貢献できる人材を育成する。

#### 重点努力目標

人権・同和教育の推進、進路指導の徹底、基本的な生活習慣を確立。規律ある行動の育成、授業の充実と学力の向上・錬磨。環境・安全教育の推進、世界に貢献できる人材の育成。

(点検・評価の日程)

1 評価項目の決定	平成21年6月
2 評価方法の決定	平成21年7月
3 評価実施	平成22年3月初旬
4 集計と分析	平成22年3月末
5 評価結果の公表	平成22年5月

本年度は、高校評価項目と中学評価項目の分離を図り、実施しました。

(高等学校総評)

評価平均値3.5未満の項目が19年度20/25、20年度7/25、さらに今年度2/25と大幅に改善しています。ほとんどの項目について評価平均値が向上しており、教職員の意識向上が現れていると評価します。しかし評価を落とした項目もあり22年度はそうした項目の重点的な改善を行いたいと思います。

(中学校総評)

評価平均値3.5未満の項目が10/22となり、適切な評価が得られたと考えています。6年コースの中学部という性格上、授業関連の評価は高く、進路関係の評価は低い傾向が見られました。

また、全教員で取り組む項目の評価は高くなる傾向も見られました。キャリア教育を充実させ、全教員が共通認識を持ち、目標実現に向けて取り組んで行かなければならないと思います。

### (10) 数理コースの新設

本年度より数理コースを新設しました(生徒数 男15名、女6名)。文理クラスに比して数学、物理の授業を1時間多く実施。生徒の多くは、国公立大理系学部進学希望であります。

夏休みを中心に校外宿泊研修として理系大学との共同プログラムにより、意欲的に物事を吸収する生徒が増えてきており、今後も、理数系大学や、科学技術関係機関と密接な連携を保ち教育レベルのアップを図っていききたいと思います。

平成21年度、本校は独立行政法人科学技術振興機構(JST)が主催する平成21年度「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」に採択されました。

「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」とは、文部科学省の「次代を担う人材への理数教育の拡充」施策の一環として、学校と大学・科学館・企業等の連携により、生徒の科学技術、理科・数学に関する興味・関心と知的探究心を育成することを目的とする事業です。

【課外授業等の現況】

#### ① 数学集中講義

8月5日(水)～7日(金)の3日間の午前中

「数学の歴史」 講師 三重大学名誉教授 黒川都史子先生

#### ② 本校理科教員による理科実験・実習 3日間

8月3日(月) 物理実験 加速度の測定、モンキーハンティングの実験

8月4日(火) 生物実習 タマネギの根の体細胞分裂、ユリ花粉の減数分裂、

## ツバキの組織の観察

8月10日(月) 化学実験 化学実験の基本操作・アンモニア噴水実験、中和滴定実験

### ③ 校外宿泊研修 8月25日(火)～27日(木)の2泊3日

8月25日(火) 名古屋市 豊田工業大学サイエンス体験プログラム

午前 バイオマスについての講義と電子顕微鏡設備見学

午後 太陽電池・燃料電池についての講義・実験、クリーンルーム見学

8月26日(水) 岐阜県恵那市 NPO法人奥矢作森林塾エコツアー

午前 森林についての講義・人工林間伐見学

午後 アライダシ原生林エコツアー

岐阜大学教育学部理科専攻4年生10名と交流

夕食後 岐阜大学教育学部 川上紳一先生の講話「全地球凍結の研究」

8月27日(木) 研究所と発電所の施設見学

午前 岐阜県土岐市 核融合科学研究所見学

午後 三重県川越町 中部電力川越電力館・火力発電所見学

## (11) 教職員海外研修事業

### 1) 三重県私学総連合会私学教職員海外研究派遣事業

①派遣教諭 伊藤 哲哉

視察先 北欧4カ国(フィンランド・ルウェー・スウェーデン・デンマーク)

視察期間 平成21年7月29日～8月6日

#### <視察・研究内容>

北欧の代表的な地形であるフィヨルドや代表的な都市を見学し、北欧の人々が自然や環境を大切にしている心や学び、生徒に伝える事を目的として視察しました。

### 2) 高田中・高等学校教職員海外派遣事業

②派遣教諭 井ノ口 良雄

視察先 カナダ

視察期間 平成21年8月20日～8月27日

#### <視察・研究内容>

カナダの至る所には、自然環境が多く残されている。

その素晴らしさを日本が抱える様々な環境問題と比較しながら生徒に伝えたい。また、多民族国家の文化政策についても垣間見ることができました。

### 3) 高田中・高等学校教職員海外派遣事業

③派遣教諭 上野 力

視察先 ドイツ・オーストリア

視察期間 平成21年8月15日～8月23日

#### <視察・研究内容>

生徒の前に立つ教師として、異文化を体験することにより見方、考え方が変わり生徒への接し方も変わります。その事が最大目的であり、効果でした。また、物理学者や音楽家を多く排出した歴史と文化を体験できたことは、今後の教師生活に有意義なものでした。

## 4 施設設備整備事業の実績及び進捗状況

### －高田短期大学－

#### ① 学生支援推進GP事業

取組期間 平成21年度～平成23年度  
 総事業費 25,000,000 円

#### ● キャリアカルテシステム用サーバー等導入

納品会社 (株)システムテクノ  
 購入費用 3,281,250 円  
 事業実施月 平成21年10月～平成22年2月

#### ● 教務システム導入

納品会社 (株)システムテクノ  
 購入費用 2,646,000 円  
 事業実施月 平成22年3月

#### ● 出席管理システム導入

納品会社 (株)SIGEL(シゲル) (株)システムテクノ  
 購入費用 9,054,150 円  
 事業実施月 平成22年1月～3月

#### ② スクールバス運行委託業務

委託会社 (有)ティー・ディー・エス  
 委託料 3,923,000 円  
 契約期間 平成21年4月～平成22年3月

#### ③ 大講義室椅子等取替・床張替工事

施工会社 愛知(株)  
 総工費 3,201,600 円  
 工事期間 平成22年3月

### －高田高等学校・高田中学校－

#### ① 高田高等学校グラウンド整備事業

#### ● グラウンド整備及び管理棟等建築

施工会社 (株)鴻池組  
 総工費 813,225,000 円  
 着工 平成20年4月 1日  
 完成 平成21年9月30日  
 第1回支払額 106,207,500 円  
 第2回支払額 118,072,500 円  
 第3回支払額 94,500,000 円  
 第4回支払額 100,000,000 円  
 最終支払額 394,445,000 円



管理棟1



管理棟2



厩舎棟



② 第1体育館雨漏改修工事

施工会社 (株)鴻池組  
総工費 10,500,000 円  
工事期間 平成21年7月～8月

③ 1号館・2号館外壁塗装・教室床改修等工事

設計工事管理業務 (株)中部都市建築設計事務所  
施工会社 (株)鴻池組  
総工費 50,925,000 円  
工事期間 平成21年7月～8月

④ 施設管理棟(用務員棟)改築工事

設計工事管理業務 (株)中部都市建築設計事務所  
施工会社 (株)鴻池組  
総工費 26,444,880 円  
工事期間 平成21年10月～平成22年3月



⑤ 自転車置場改築工事

設計工事管理業務 (株)中部都市建築設計事務所  
施工会社 (株)鴻池組  
総工費 32,754,120 円  
工事期間 平成21年10月～平成22年3月



⑥ 安全管理事業

●防災倉庫設置

施工会社 中部資材(株)  
総工費 803,250 円  
工事期間 平成21年8月

●防災医療備蓄品購入

購入費用 1,354,614 円  
事業実施月 平成21年8月

⑦ ハンドボール及びバスケットボールコート設置工事

施工会社 長谷川体育施設(株)  
総工費 22,490,000 円  
工事期間 平成22年2月～平成22年3月



⑧ 野球部ベンチ屋根設置工事

施工会社 長谷川体育施設(株)  
総工費 2,520,000 円  
工事期間 平成21年12月

⑨ 学生ホール自動扉設置工事

施工会社 (株)鴻池組  
総工費 3,150,000 円  
工事期間 平成21年8月

⑩ 本館・2号館他照明器具増設工事

施工会社  
購入費用 2,415,000 円  
工事期間 平成21年5月

⑫ 新グラウンド用備品購入

納品会社 (有)ヨシダ運動具店  
購入費用 12,166,575 円  
事業実施月 平成21年10月

### 3 財務の概要

#### (1) 資金収支計算書の概要

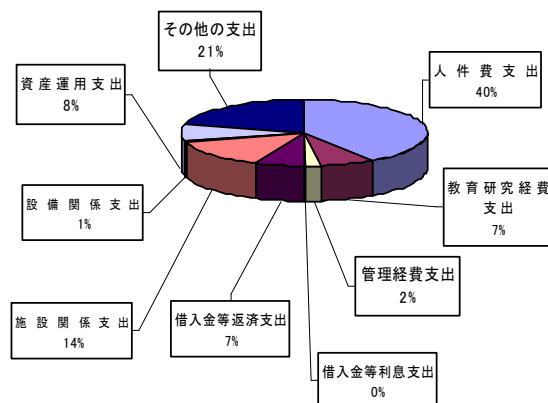
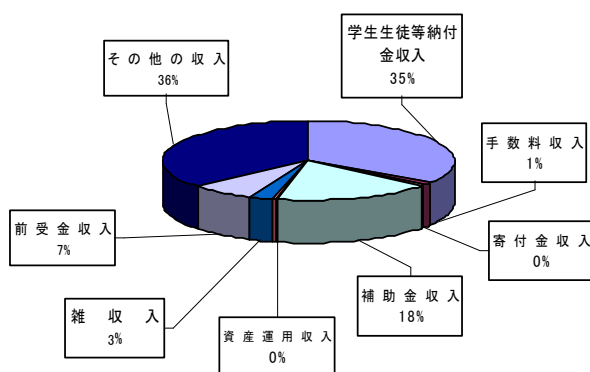
資金収支計算書は、会計年度の教育・研究その他の活動に対応するすべての収支内容並びに支払資金の収支のてん末を明らかにしたものです。本学苑の資金収支決算総額は46億6,800万円となり前年度の決算額と比較し1億5,700万円の減額となりました。

#### 平成21年度 資金収支計算書総括

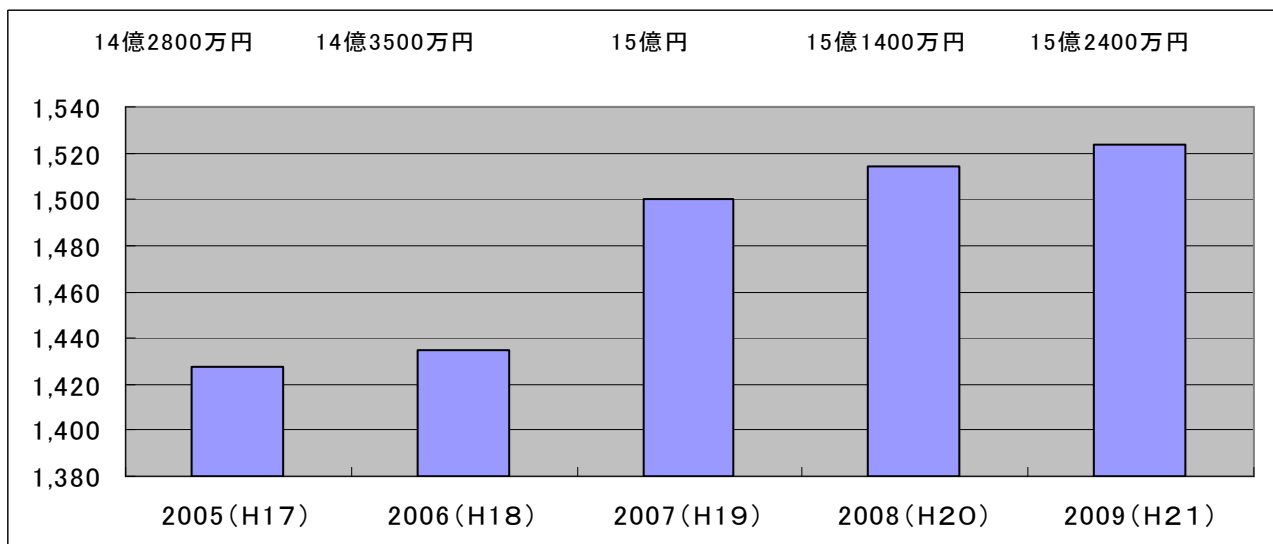
(単位:千円)

収入の部			支出の部		
科 目	決 算	前年比	科 目	決 算	前年比
学生生徒等納付金収入	1,524,554	9,583	人 件 費 支 出	1,847,086	22,284
手 数 料 収 入	58,337	2,931	教 育 研 究 経 費 支 出	326,738	90,413
寄 付 金 収 入	9,379	1,079	管 理 経 費 支 出	91,133	▼ 8,083
補 助 金 収 入	772,903	5,132	借 入 金 等 利 息 支 出	5,933	▼ 1,248
資 産 運 用 収 入	19,196	▼ 8,300	借 入 金 等 返 済 支 出	300,000	300,000
事 業 収 入	7,403	4,111	施 設 関 係 支 出	629,307	▼ 353,087
雑 収 入	130,108	▼ 12,887	設 備 関 係 支 出	41,814	20,472
前 受 金 収 入	307,683	8,073	資 産 運 用 支 出	351,235	▼ 331,625
そ の 他 の 収 入	1,615,832	▼ 582,851	そ の 他 の 支 出	958,856	▼ 449,845
資金収入調整勘定	△ 417,719	▼ 25,861	資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 39,503	38,400
<b>当年度収入合計</b>	<b>4,027,676</b>	<b>▼ 1,599,395</b>	<b>当年度支出合計</b>	<b>4,512,599</b>	<b>▼ 672,319</b>
前年度繰越支払資金	640,997	442,153	次年度繰越支払資金	156,074	▼ 484,923
<b>収入の部合計</b>	<b>4,668,673</b>	<b>▼ 1,157,242</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>4,668,673</b>	<b>▼ 1,157,242</b>

(注)△は計算書式上のマイナス表示、▼は比較上のマイナス表示(以下同じ)。  
前年比は平成20年度決算との比較です。



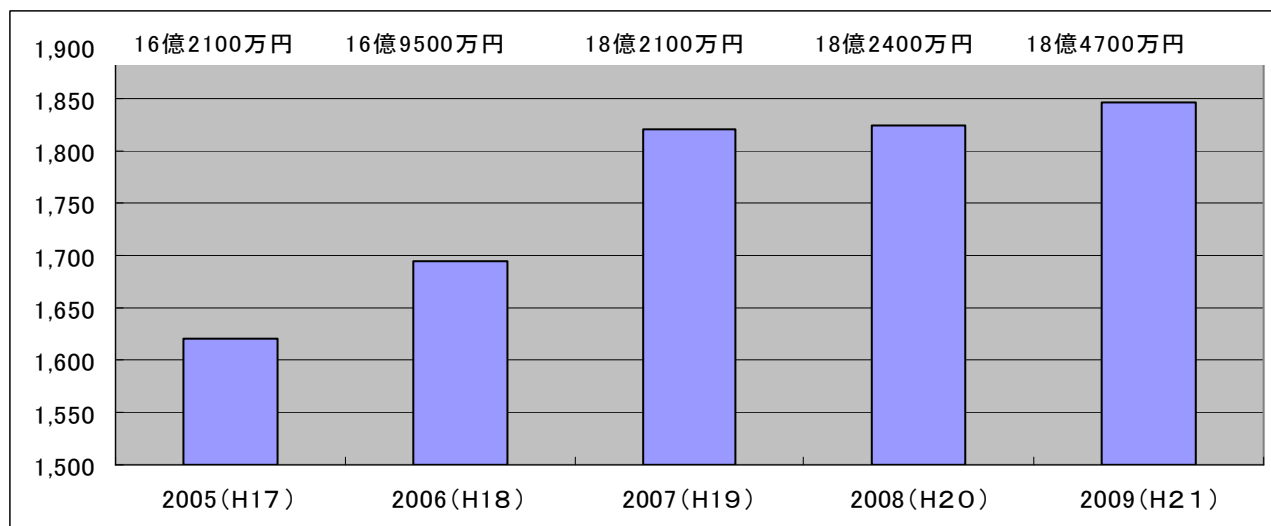
● 学生生徒等納付金収入推移表(2005～2009決算)



● 補助金収入推移表(2005～2009決算)



● 人件費支出推移表(2005～2009決算)



平成21年度 補助金一覧表

(単位:千円)

補助金名	当年度	前年度	差異
	①	②	① - ②
<b>短期大学補助金合計</b>	<b>115,127</b>	<b>106,578</b>	<b>8,549</b>
<b>国庫補助金計</b>	<b>111,935</b>	<b>106,091</b>	<b>5,844</b>
私立大学等経常費補助金	97,698	97,651	47
大学改革等推進等補助金	11,000	0	11,000
結核補助金	825	0	825
子供ゆめ基金助成金	943	0	943
科学研究費補助金	1,469	975	494
特色ある大学教育支援プログラム補助金(特色GP)	0	7,465	△ 7,465
<b>日本国際教育協会からの援助金</b>	<b>0</b>	<b>420</b>	<b>△ 420</b>
私費外国人留学生授業料減免援助金	0	420	△ 420
<b>地方公共団体補助金計</b>	<b>3,192</b>	<b>67</b>	<b>3,125</b>
結核健康診断予防接種費補助金	78	67	11
進路選択学生等支援事業補助金	3,114	0	3,114
<b>中・高補助金合計</b>	<b>657,776</b>	<b>661,193</b>	<b>△ 3,417</b>
<b>高等学校補助金計</b>	<b>502,236</b>	<b>507,072</b>	<b>△ 4,836</b>
<b>地方公共団体補助金計</b>	<b>498,932</b>	<b>503,621</b>	<b>△ 4,689</b>
私立高等学校等振興補助金	475,541	490,842	△ 15,301
授業料軽減補助金	20,767	7,727	13,040
交通遺児減免補助金	0	0	0
人権教育推進事業費補助金	1,379	1,379	0
結核健康診断予防接種費補助金	191	191	0
外国人語学指導助手補助金	300	1,800	△ 1,500
教育改革推進事業補助金	672	1,600	△ 928
人権を考える児童・生徒の集い開催事業	82	82	0
<b>市町村補助金計</b>	<b>3,304</b>	<b>3,451</b>	<b>△ 147</b>
私立高等学校振興補助金 津市	2,513	2,615	△ 102
私立高等学校振興補助金 松阪市	215	231	△ 16
私立高等学校振興補助金 鈴鹿市	418	415	3
津市国際交流事業補助金	100	100	0
スポーツ激励金	58	90	△ 32
<b>中学校補助金計</b>	<b>155,540</b>	<b>154,121</b>	<b>1,419</b>
<b>地方公共団体補助金</b>	<b>155,540</b>	<b>154,121</b>	<b>1,419</b>
私立高等学校等振興補助金	155,158	153,646	1,512
人権教育推進事業費補助金	0	393	△ 393
外国人語学指導助手補助金	300	0	300
人権を考える児童・生徒の集い開催事業	82	82	0
<b>短大、中・高補助金 総計</b>	<b>772,903</b>	<b>767,771</b>	<b>5,132</b>

## (2) 消費収支計算書の概要

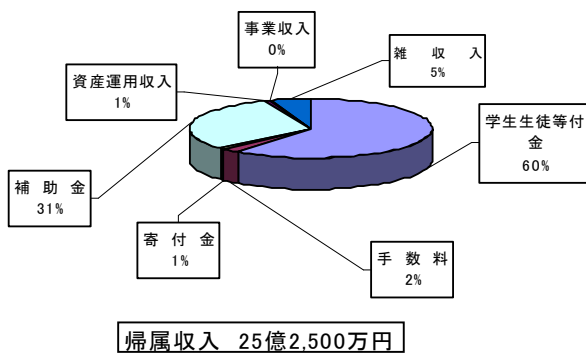
消費収支計算書は、当該会計年度の帰属収入、基本金組入額、消費収入及び消費支出の内容並びに消費収支の均衡状態を示すものです。

### 平成21年度消費収支計算書総括

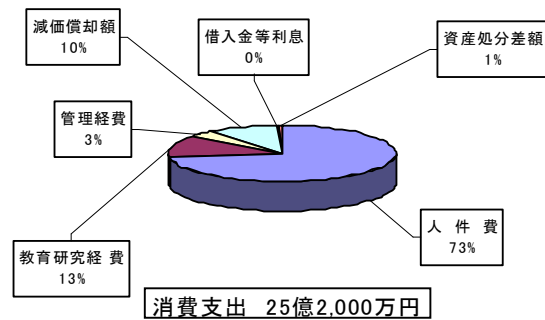
(単位:千円)

収入の部			支出の部		
科目	決算	前年比	科目	決算	前年比
学生生徒等納付金	1,524,553	9,584	人件費	1,827,916	▼ 88,792
手数料	58,337	2,931	教育研究経費	326,869	90,400
寄付金	12,549	1,677	管理経費	91,964	▼ 7,857
補助金	772,903	5,133	減価償却額	250,224	▼ 13,804
資産運用収入	19,196	▼ 8,300	借入金等利息	6,755	▼ 426
事業収入	7,403	4,111	資産処分差額	16,428	11,466
雑収入	130,108	▼ 12,949			
<b>帰属収入合計</b>	<b>2,525,050</b>	<b>1,781</b>			
基本金組入額	△ 373,197	239,150			
<b>消費収入の部合計</b>	<b>2,151,853</b>	<b>240,931</b>	<b>消費支出の部合計</b>	<b>2,520,156</b>	<b>▼ 9,013</b>
			当年度消支出超過額	△ 368,302	249,945
			前年度繰越消費支出超過額	△ 2,447,646	▼ 618,247
			翌年度繰越消費支出超過額	△ 2,815,948	▼ 368,302

平成21年度帰属収入構成比



平成21年度消費支出構成比(対帰属収入比)



### ○帰属収入

帰属収入とは、学校法人の負債とされない収入で、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、雑収入等が含まれます。

### ○基本金組入額

基本金組入額とは、学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するために、維持すべきものとして帰属収入のうちから組入れた金額です。

基本金には、第1号基本金から第4号基本金まで、4種類の基本金があります。

第1号基本金は、施設設備の整備拡充のために支出した金額であり、平成21年度の組入額は約3億7,320万円となりました。

主な内訳は、中・高グラウンド整備事業による建物と構築物の取得によるものです。

第2号基本金は、施設設備を取得するために、事前に組入れる金額で、平成21年度はありませんでした。

第3号基本金は、教育・研究活動の維持向上を目的とした教育研究基金、奨学基金等の設定であり、本学苑は組入れを行っていません。

第4号基本金は、恒常的に保持すべき資金の額の設定であり、平成21年度も組入れる必要はありませんでした。

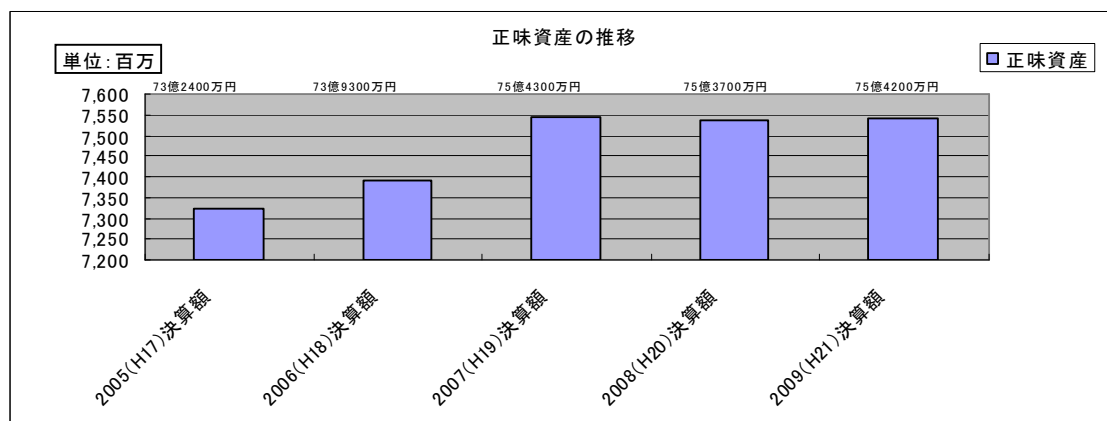
### (3) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、平成22年3月31日現在の財政状態を示しています。

#### 平成21年度 貸借対照表（総括）

（単位：千円）

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	8,640,952	8,502,316	138,636
有形固定資産	7,358,741	6,952,312	406,429
土地	860,411	860,411	0
建物	5,162,137	5,114,013	48,124
構築物	912,795	230,184	682,611
教育研究用機器備品	175,736	191,151	△ 15,415
その他の機器備品	7,975	6,590	1,385
図書	201,978	198,063	3,915
車輛	7,790	1,100	6,690
学苑林	29,919	29,919	0
建設仮勘定	0	320,880	△ 320,880
その他の固定資産	1,282,211	1,550,004	△ 267,793
借地権	2,258	2,258	0
電話加入権	1,286	1,286	0
施設利用権	1,144	86	1,058
有価証券	3,838	3,838	0
差し入れ保証金	350	300	50
退職給与引当特定資産	312,490	258,490	54,000
施設設備拡充特定資産	673,193	965,337	△ 292,144
長期火災保険特定資産	278,794	314,545	△ 35,751
長期前払金	8,858	3,864	4,994
流動資産	327,354	810,541	△ 483,187
現金預金	156,074	640,997	△ 484,923
未収入金	118,110	114,753	3,357
修学旅行費預り資産	49,218	50,347	△ 1,129
卒業諸費預り資産	3,372	3,622	△ 250
前払金	580	822	△ 242
<b>資産の部合計</b>	<b>8,968,306</b>	<b>9,312,857</b>	<b>△ 344,551</b>
固定負債	702,072	1,021,243	△ 319,171
長期借入金	400,000	700,000	△ 300,000
退職給与引当金	302,072	321,243	△ 19,171
流動負債	724,417	754,691	△ 30,274
短期借入金	300,000	300,000	0
未払金	39,504	77,903	△ 38,399
前受金	307,683	299,610	8,073
預り金	24,639	23,208	1,431
修学旅行費預り金	49,219	50,348	△ 1,129
卒業諸費預り金	3,372	3,622	△ 250
<b>負債の部合計</b>	<b>1,426,489</b>	<b>1,775,934</b>	<b>△ 349,445</b>
第1号 基本金	10,207,766	9,834,569	373,197
第2号 基本金	0	0	0
第4号 基本金	150,000	150,000	0
<b>基本金の部合計</b>	<b>10,357,766</b>	<b>9,984,569</b>	<b>373,197</b>
翌年度繰越消費支出超過額	△ 2,815,948	△ 2,447,646	△ 368,302
<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>△ 2,815,948</b>	<b>△ 2,447,646</b>	<b>△ 368,302</b>
<b>負債の部、基本金の部、及び消費収支差額</b>	<b>8,968,306</b>	<b>9,312,857</b>	<b>△ 344,551</b>



注記 1. 重要な会計方針

①引当金の計上基準

○徴収不能引当金・・・・・・・・・・・・・・・・未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

○退職給与引当金

(短期大学) 期末要支給額 109,526,530 円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。

(中学校及び高等学校) 期末要支給額 1,169,821,671 円から三重県私立学校教職員退職基金財団より交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

②その他重要な会計方針

○有価証券の評価基準及び評価方法

\*移動平均法に基づく原価法である。

○所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法

\*リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 重要な会計方針の変更等

「リース取引に関する会計処理について(通知)」(20高私参第2号)及び「ソフトウェアに関する会計処理について(通知)」(20高私参第3号)の発出に伴い、当会計年度から当該通知によっている。なお、この変更による計算書類に与える影響はない。

3. 減価償却額の累計額の合計額 3,413,431,350円

4. 徴収不能引当金の合計額 0円

5. 担保に供されている資産の種類及び額 0円

6. 翌会計年度以降の会計年度において基本金へ組入れを行うこととなる金額 494,306,600円

7. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

①有価証券の時価情報

(単位：円)

種 類	勘定科目	当年度(平成22年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの (うち満期保有目的の債券)	有価証券	3,838,498	27,287,154	23,448,656
		(0)	(0)	(0)
	退職給与引当特定資産	0	0	0
		(0)	(0)	(0)
	施設設備拡充特定資産	300,000,000	305,600,000	5,600,000
		(0)	(0)	(0)
小計 (うち満期保有目的の債券)		303,838,498	332,887,154	29,048,656
		(0)	(0)	(0)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの (うち満期保有目的の債券)	施設設備拡充特定資産	100,000,000	86,750,000	△13,250,000
		(100,000,000)	(86,750,000)	(△13,250,000)
小計 (うち満期保有目的の債券)		100,000,000	86,750,000	△13,250,000
		(100,000,000)	(86,750,000)	(△13,250,000)
合計 (うち満期保有目的の債券)		403,838,498	419,637,154	15,798,656
		(100,000,000)	(86,750,000)	(△13,250,000)

②所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース  
平成21年3月31日以前に開始したリース取引

その他機器備品 リース料総額 2,406,600円 なお、未経過リース料期末残高は200,550円である。

#### (4) 財務比率推移表

(単位:%)

分類	区 分		19年度 (短大) [中高]	20年度 (短大) [中高]	21年度 (短大) [中高]	評	20年度 全国平均		分 類
	比 率	算式(×100)							
貸借対照表関係比率	自己資金構成比率	(基本金+消費収支差額) 総 資 金	87.7	80.9	84.1	△	86.8		自己資金は充実されているか
	消費収支差額構成比率	消費収支差額 総 資 金	△ 21.3	△ 26.3	△ 31.4	△	△ 10.2		
	基本金比率	基 本 金 基本金要組入額	102.0	98.1	101.8	△	96.4		
	固定比率	固 定 資 産 自 己 資 金	108.2	112.8	114.6	▼	97.3		長期資金で固定資産は賸われているか
	固定長期適合率	固 定 資 産 (自己資金+固定負債)	105.0	108.2	110.2	▼	89.7		
	固定資産構成比率	固 定 資 産 総 資 産	94.9	91.3	96.4	▼	84.5		資産構成はどうか
	流動資産構成比率	流 動 資 産 総 資 産	5.1	8.7	3.6	△	15.5		
	減価償却比率	減 価 償 却 累 計 額 減価償却資産取得価額	33.2	32.5	34.1	~	45.8		
	流動比率	流 動 資 産 流 動 負 債	53.1	107.4	45.2	△	268.3		負債に備える資産が蓄積されているか
	前受金保有率	現 金 預 金 前 受 金	71.8	213.9	50.7	△	421.6		
	退職給与引当預金率	退 職 給 与 引 当 特 定 預 金 退 職 給 与 引 当 金	112.7	2.2	2.2	△	54.0		
	固定負債構成比率	固 定 負 債 総 資 金	2.7	3.4	3.4	▼	7.4		負債の割合はどうか
	流動負債構成比率	流 動 負 債 総 資 産	9.6	8.1	8.1	▼	5.8		
	総負債比率	(固定負債+流動負債) 総 資 産	12.3	19.1	15.9	▼	13.2		
負債比率	総 負 債 自 己 資 金	14.0	23.6	18.9	▼	15.1			
消費費収支計算書関係比率	消費支出比率	消 費 支 出 帰 属 収 入	94.3 [107.9] [89.7]	100.2 [105.0] [97.6]	99.8 (105.3) [96.5]	▼	短大	中・高	経営状況はどうか
	学生生徒等納付金比率	学 生 生 徒 納 付 金 帰 属 収 入	72.4 (71.7) [54.6]	60.0 (75.1) [56.6]	60.4 (72.4) [57.3]	~	63.8	52.6	収入構成はどうか
	補助金比率	補 助 金 帰 属 収 入	31.3 (18.8) [35.4]	30.4 (19.0) [34.2]	30.6 (19.6) [34.3]	△	24.0	35.4	
	人件費比率	人 件 費 帰 属 収 入	70.1 (72.2) [69.9]	76.0 (72.3) [77.6]	72.4 (71.4) [72.7]	▼	64.0	68.3	支出構成は適切であるか
	教育研究費比率	教 育 研 究 経 費 帰 属 収 入	19.6 (30.9) [16.4]	19.5 (26.8) [17.7]	22.2 (27.7) [20.8]	△	25.5	25.1	
	管理経費比率	管 理 経 費 帰 属 収 入	3.3 (4.7) [1.6]	4.3 (5.9) [2.0]	4.3 (5.9) [2.3]	▼	9.8	5.2	
	借入金等利息比率	借 入 金 等 利 息 帰 属 収 入	(0.0) (0.0) [0.0]	(0.3) (0.0) [0.0]	(0.3) (0.0) [0.0]	▼	0.7	0.6	
	基本金組入率	基 本 金 組 入 額 帰 属 収 入	4.1	24.3	14.9	△	11.2	11.2	
	人件費依存率	人 件 費 学 生 生 徒 納 付 金	121.0 (100.7) [128.1]	126.5 (96.3) [137.2]	119.9 (98.5) [126.9]	▼	100.2	129.8	収入と支出のバランスはとれているか
	消費収支比率	消 費 支 出 消 費 収 入	98.3 (109.2) [90.0]	132.4 (105.8) [142.3]	117.3 (105.4) [119.4]	▼	116.0	114.6	

## (5) 財 産 目 録

(単位:千円)

一、資 産 総 額	8,968,306
内 1. 基 本 財 産	7,328,822
2. 運 用 財 産	1,639,484
二、負 債 総 額	1,426,489
三、正 味 財 産	7,541,817

項 目	数 量	金 額
(一) 資 産		8,968,306
1. 基 本 財 産		7,328,822
(ア) 土 地	90,908.61 m <sup>2</sup>	860,411
(イ) 建 物	39,650.03 m <sup>2</sup>	5,162,137
(ウ) 構 築 物	163 点	912,795
(エ) 図 書	87,299 冊	201,977
(オ) 教育研究用機器備品	17,915 点	175,735
(カ) その他機器備品	143 点	7,974
(キ) 車 輦	8 台	7,790
2. 運 用 財 産		1,639,484
(ア) 現金及び預金		156,074
(イ) 修学旅行費預り資産		49,218
(ウ) 卒業諸費預り資産		3,372
(エ) 未 収 入 金		118,109
(オ) 借 地 権	1 点	2,257
(カ) 電 話 加 入 権	15 基	1,285
(キ) 施 設 利 用 権	3 点	1,144
(ク) 差 し 入 れ 保 証 金		350
(ケ) 有 価 証 券	48,217.00 株	3,838
(コ) 土 地	61,913.00 m <sup>2</sup>	29,919
(サ) 退職給与引当特定資産		312,490
(シ) 長期火災保険特定資産		278,794
(ス) 施設設備拡充特定資産		673,192
(セ) 長 期 前 払 金		8,858
(ソ) 前 払 金		579
(二) 負 債		1,426,489
1. 固 定 負 債		702,072
(ア) 長 期 借 入 金		400,000
(1) ㈱百五銀行一身田支店借入金		400,000
(イ) 退職給与引当金		302,072
2. 流 動 負 債		724,416
(ア) 短 期 借 入 金		300,000
(1) ㈱百五銀行一身田支店借入金		300,000
(イ) 未 払 金		39,503
(ウ) 前 受 金		307,683
(エ) 預 り 金		77,229
(1) 職員源泉等預り金		24,638
(1) 修学旅行費預り金		49,218
(1) 卒業諸費預り金		3,372